

お客様各位

株式会社 山喜農園  
新潟県魚沼市原1280-1  
TEL. 025-794-2455  
FAX. 794-4168  
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp  
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

## 球根情勢報告

### 14年産/15年産南半球産百合球根流通状況及び1月期N.Z出張報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

1月22日～1月26日までニュージーランドに出張してまいりました。

予定していた15年産南半球産取引開始時期から3週間近くも早まって始まってしまいました。(2月中旬くらいのスタートだと思っていました。)

情勢把握が完全に出来上がっていない状況ですが、なぜ早く始まってしまったのか、個人的に考えた理由まで含めてご報告いたします。

なお、15年産のポートは、4ページからとなります。急がれる方は、4ページ目からご確認ください。

## 14年産南半球産百合球根

### N.Z産

#### A.H/L.A系

前年比で輸入数減少。約12%減。

N.Z産：C.H産、A.H/L.A系の輸入比率は、77：23となった様です。

深谷雪害を踏まえれば、良くこの程度の減少で済んだと思います。

日本の減少分は、主にベトナム及び北アメリカに切花を出荷する国が、球根を消費してくれたおかげで、不良在庫化しなかったようです。

\*刊産A.H/L.Aが、前年比で約47%も減少していました。

元々刊産の消費量の少なかった深谷地区雪害の影響ではなく、既に球根が高すぎた、又は品種の構成が日本向けではなかった為？

この動きにより深谷地区が使えなかったN.Z産L.Aを、他県の産地が消費してくれた事により、N.Z産A.H/L.Aの輸入量減少が12%程度で済んだ模様…。

日本/N.Z百合生産会社との関係を考えれば、「本当に良かった！」と思う現象です。

#### V.Z社産

セラダはまずまず。

R.トリニティは、ややリン付きが良くなかった。(ロットにより…種球の履歴により…。)

デジールは、やや品質下降…。(15年産生産停止！)

カプレットは、調査数少なく、傾向がつかめていない。

#### サソノロー社

パーティダバメント、エローダバメント、エブリ、etc.

この会社の標準品質としては、悪くなかったのではないのでしょうか？

## 0.H/0.T系

前年比で、輸入数やや減少。約2.5%減。

N.Z産：C.H産 0.H/0.T系の輸入比率は、78：22となった様です。

### V.Z社/バッカー社

カヤ地区両生産会社共に、例年との比較で、「力が無い」「リン数がやや少ない」

\*A.H/L/A系、R.トリニティの輪付きが悪いという結果とほぼ同様な状況となっている様子。

両社とも例年比で、LMOV, LSV, Plamv 等のウイルス病の発症割合が高めとなっている。(ここまでの作型において…。)

今回、N.Z 出張時に農家の皆様とお話をしたところ、養成球の不発芽状況・芽の動きの早さ、そして昨年の気象条件 (日照量がものすごく？少なかったとの事！)

「弱い養成球」という状況から、彼ら自身「開花球品質」でも苦戦するであろうとの予測を立てていました。

私からの報告を上げるまでもなく、「自分の畑」を見て感じていたそうですし、既にオランダ輸出業社側のオランダ国における試験栽培調査の報告が入っていますので、特別な説明をする必要もなかった様です。

「力の無い球根は、ウイルス症状を発症させやすい」。今年はそういう年でもあるのだと感じています。  
これらの状況を踏まえて、15年産は…。

### アイランドパルス社

ネピア地区。

14年産については南島カヤ地区近郊産と、ネピア産がありました。

15年産も同様です。16年産以降は原則北島へ、生産の一本化を進めていく様です。(行ったり来たり…。)

北島と南島の土壌条件・気象条件の違いから、母球管理、養成球生産のやり方、生産方針にも大きな開きが出てこなければならぬでしょう…。

今後は、ますますその考え方の差がはっきり出てくるように見えますし、そうあるべきだと思いました。

カヤ産同様、LMOV, LSV, Plamv 問題が確認されています。15年産に向けての対応・対策は…。

V.Z社/バッカー社とは別の問題として捉えたい。分けて考えていきたいです。(経営者の考え方の差、育種会社輸出会社の思い…。)

この気象条件は…悪くない。母球管理を V.Z社/バッカー社並みにしてくれれば…潜在能力の高さは依然 No.1 だと思います。ホナーの考え方次第！

16年産以降は、ここからカダ、ベンツ、カバウなど重要度の高いと思われる品種の供給が始まる。(さすが Vletter…バランス考える。)

## C.H産

### A.H/L.A系

前年比で輸入数約47%減少。

この輸入量の減少は、深谷雪害が直接影響したわけではありません。元々深谷地区は、C.H産 L.Aをほとんど使っていない…。

日本が減少した分は…どこに行ったのでしょうか？

一部の農家、一部の品種で高い濃度の Plamv に汚染されている品種があったことが、最近になって輸出業社から報告されました。(オランダ産、リッカー・アマテラスの濃度を超えている？冬場に使えば…。)

この事は、刊の球根生産、球根輸出を個々の生産会社レベルで掘り下げて考えていくと、大きな問題です。当該品種だけの問題ではないのです。(L.Aは、ほとんど症状が出ませんからね…。)

汚染品種/汚染ロットについては、早急に処分しなければ、過去に N.Z で事例確認されているデジール→サナへ感染…と同じ道をたどることになります…。感染ルートは不明ですが、O.H 系に影響が広がってくることを心配しています。

気を付けてもらわないと！！

当社は、C.H 産 A.H/L.A について LOS コード販売分しか取り扱いを行っておりませんでした。(PUGS 分は、量が少なくて売ってもらえなかった…。本当は扱いたいのに…。) 現在までの所、当社取扱分 (LOS コード分) においては、品質面でのクレームレポートは上がってきていません。良かったのかな？

## O.H/O.T 系

前年比輸入量減少。約 12.8%減

早くから Plamv 問題を抱えてしまった刊産については目下品質改善中。(2 件だけかな？他はどうなの？)

14 年産球根が栽培されていた気象環境のレポートが少なかった為、私自身 14 年産 C.H 産の傾向がどうなってくるのかよく分かっておりません。(昨年調査しなければならぬ時期に、雪害対策に追われておりましたから…。)

とにかく球根の入荷が遅れた為、現在までの所、多くの切花栽培事例の確認が出来ていません。(当社調査範囲…。)

### バルビエア地区 (VLZV 社コード 取扱分)

掘り取り期に集中的に雨が降る気象条件。

残念ながら、14 年産はもの見事にこれに当ててしまいました。大げさに言えば、入荷が 1 ヶ月間くらい遅れてしまっています。

先代の社長が、「球根掘り取り」を「戦争」における「地上戦」に例えていたことを思い出します。

泥の中の地上戦…。

一番最初に Plamv に関わった会社。それが今では、C.H 産球根生産会社の中で、「日本向け輸出球」で言えば、最もウイルス罹病率の低い会社になってきているのではないのでしょうか？(他国への輸出分は…知りません。)

3 年前刊出張時に書いたレポート…、コ・トフ氏が頑張ってくれば…、ようやく結果が出てきつつあるように思います。大したものです。(V.Z 社/バツカ社同様、母球供給体制がしっかりしてきた。履歴を、関わる人へ伝えられる仕組み。)

全てが良くなっているわけではないでしょうし、C.H 産球根生産会社の大半が、特有に抱えている問題もありますので、それらをちゃんと把握して、しっかりと取引を構築していきたいと考えています。

### ピュウエ地区

#### (ザンバルス社 PUGS コード 取扱分)

5~6 カ所に栽培地が分散している生産体系。生産地域が広域にわたる為、「この気象条件下において生産された球根は…」という説明が出来なくなってしまっています。

14 年産については、深谷雪害対策に奔走していた時期だった為、「14 年産の品質傾向は…栽培時気象条件は…」という話がしにくいのです。

N.Z 産の様に「力が無い」とは言えない、「例年並みの力」だと思います。

バセブラ、P.ブロード、サツカなどの白系 O.H 系において、LMOV, LSV, Plamv 問題が気になってきています。当社は取扱がありませんが、コンカールその他でも…

3年前に書いたレポートをもう一度読んでみましょうか？

この会社の母球種球管理は？輸出入業者の調査ポイントはどこ？

1～2年で判断する事ではないでしょう！

**(サンベジ社 LOS コート 取扱い分)**

刊では一番暖かい球根生産地。

今年は事故が多いそうで…。(主に LMOV バイラス…。)

この会社の母球種球管理は？輸出入業者の調査ポイントはどこ？

1～2年で判断する事ではないでしょう！

15年産に向けての対応策は？

## 15年産南半球産百合球根

なぜ予定よりも3週間も早く取引が開始されたのでしょうか？

私が考える理由

①14年産ハンガ産 O.H/O.T系が豊作！

世界市場に対して球根は十分にあります。

南半球産取り扱い会社は、「早く売り出さないと…」と輸出業社は考えました。(あくまでも O.H/O.T系について。A.H/L.Aは、全然足りていない。)

②A.H/L.Aについては、既に13年産/14年産で、C.H産激減。

N.Z産は、深谷地区が最大量消費していたものが、日本中に消費が分散。

深谷地区の消費が雪害前近くにまで回復すれば、現状のN.Z産球根生産量では球根が足りない様です。

③O.H/O.T系を早く、しかも昨年よりも価格を下げて売り出したのは、世界市場の過剰感から…。

ところが、ふたを開けてみれば、N.Z産球根を各輸入業者に分配し始めた所、日本向けに重要度が高いと思われる品種の生産流通予定量が、全然少なくなっている事に気が付きました。

C.H産が増えると脅かしたからな～？他国向き品種の生産割合が増えてしまったからなあ～？

流通数減少する品種例

増加する品種例

リアルト	ソルボンヌ			N.Z産	アルレッタ	C.H産	コンパニオン(本当に3haもあるの??)		
コンスタント	フェニス(N.Z産)				サンベジ		テーブルダンス		
シグナム	タランゴ(N.Z産)				トケレイガ		etc.		
マルコポーロ	etc.				コンパニオン				
					サンベジ				

新しい品種の生産量は、まだ十分とは言えません。

十分な球数があるのは、コンパニオン(N.Z産・C.H産)テーブルダンス(主にC.H産)くらいです。C.H産は情報がまだ少ない…。他にも増加している品種…あるでしょう？

④今の所、N.Z産の動きしか把握できていませんが、雰囲気的には、昨年比10～20%くらい初期発注確保可能数が少ないように見えます。(あくまでも初期発注…。何でも良ければあるんです…。)これは当社のみの傾向ではなくて、輸出業社曰く、全ての輸入業者に対して「これしか売るのが無いんだ」との事。

ビックリしています。C.H産白系リエンタル…。

昨年並みに入るのか？大丈夫なのか？

⑤C.H産は、VLZV 社分は品質改善中。

納品遅れが克服できれば…。(雨が沢山降らなければ…)

けれどコンパニオンとテーブルダズがいっぱいあったからといって…

ソボノスは激減させたそうですが…

Vletter 社生産分ラッジ、カレットに期待したいですね。(カレットはキレイになってますよね!)

⑥ザンバルグス社/サハーベス社両生産会社+α、C.H産における両者の対日輸出シェアは高い…。(当社も同様です。)

日本では騒ぎになっていませんが、世界市場では日本におけるN.Z産並み、又はそれ以上の事故が起きているとの事。実際日本市場においても…問題が確認されつつあるようですし…(N.Z産事故が目立っているので…ぼやけてる?)

\*セトってなんですか?母球の事?種球の事?球根年齢の事?栽培された環境の事?1年生?2年生?

コンディション別販売⇔球根栽培履歴別販売と営業トークの差ってなに?

\*現在までの所、C.H産の情報は極めて少なく、身動きが取れない。(輸出業社からの情報量が少ない。)

C.H産球根生産会社で母球/養成球管理で、N.Z産生産会社であるV.Z社/バッカー社並みの精度と仕組みを持っているのは、VLZV社と、一部のサハーベス社受託生産分のみ(サントブリーズ社、ヴァル社、リアントボレン社については良くなっている部分があるそうですが…そもそも日本向けロット番号のある品種ってあるの?)

ザンバルグス社の分散生産と、一極管理方法…どうなるのだろう。

\*輸出業社は、本当は「球根が余るから早く始めたかったというのが本音?」

ふたを開けてみたら「あれ?日本向け…足りなくないか?」(C.H産の重要品種がきちんと入荷すれば、問題は少ないのですが…)

\*O.H/O.T系は、日本市場において輸入量の過剰感があるのだから、ちょっとくらい減ったほうが良い?

\*燃油代が下がってきました。ヒートポンプも普及してきました。西南団地の施設栽培農家の皆様は、初夏及び晩秋作型から、冬春期作型への回帰が進むでしょうか?(他の花ではその現象…始まってきますか?)

39 協力市場様の販売統計上、モノ日集中型から、やや分散型に冬場の切花生産流通状況を持ってきた方が…。

### N.Z産

14年産は、天候が悪かった。(N.ZにとってもC.Hにとっても日照量は気温より大事。)←「力の無い球根」「ウイルス発症しやすい球根」

15年産は、約9.5月間の球根栽培期間中、「球根に力をつける」「輸付きを良くする」為に重要な最初の5.5ヶ月の内、4.5ヶ月間は、素晴らしい天候でした!

輸付き、ボリューム、ウイルス発症度合については、14年産の結果で判断しないで!彼ら流に言うと、「2001年型気象条件」との事。

実際、圃場品質は12年産/13年産調査時と比べてずっと良かったです。(14年産は見に行けなかった。)

球根が太るか太らないかは、後半戦が勝負。

まだ肥大についてはコメント出来ません。(前半涼しくて、光が豊富。L.Aは既に4~5cm太っていました。)

14年産の品質問題でガタついても、15年産球根では「良い仕事をしてくれるだろう！」と思えるのは結局、「自分の目で見えて来て、聞いて来たから！」

履歴を開示してくれて、尚且つ1~2年での話ではなく（目先の話ではなく！）、中長期的にどうしていくかが、分かる取引関係構築…。

やっぱり行かなきゃダメですね～。

#### C.H産

3月後半か4月始めに刊行ってきます。（出来れば輸出業社の仕入担当と一緒に…。）

見なければわからない。聞いてこなければわからない。やっぱりそれが結論です！

生き残った刊の球根農家は優秀なはず。ソネは、VLZV という名前に変わりましたが、「復活の兆し」が見えてきています。他社にも頑張ってもらいたい。

日本の輸入業者の皆さん。一緒に刊に行きませんか？（独りだとつまらないので…。）  
C.H産球根は、輸出する側も輸入する側も、どちらかといえば閉鎖的になってしまっている。  
1件や2件では「刊って何？」のままでしょう。やはり多くの人間が関わらないと…。

あるアイスの球根輸出業社との会話。

「シェア率が上がった…世界市場の50%近くまで。」

「周りが見えなくなった…結果的にアイス産業自体がおかしくなってきた…。」

「今は百合が本業になってしまった…だけど中国/バトナムという新興国でしか仕事できていない。」

これ…重くないですか？

独占はね…機能しないんです！！

\*為替レートの行方も分かりません。

とりあえず¥133.0~¥136.0-で計算しました。

円高になっても円安になってもこの範囲で出来るように頑張ります。

（失敗したらごめんなさい…。今日は円安です…。）

詳細はお問い合わせください。

以上 森山 隆